

指定管理施設の管理運営評価票（評価対象年度：令和元年度）

施設所管部署	交流推進部 文化・交流課
評価対象期間	平成31年 4月 1日 ～ 令和2年 3月31日
評価対象年度指定管理料	178,729,000円

1. 施設の概要等

施設の概要	名称	ディスカバリーパーク焼津 天文科学館
	所在地	焼津市田尻2968-1
	設置目的	科学教育及び文化の振興を図ることを目的とする
	設備の概要	(施設面積) 2,828.23㎡ (施設内容) 天文台、プラネリウム、展示・体験室、展望スペース

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名称	公益財団法人 焼津市振興公社 代表者 理事長 吉永 律子
	所在地	焼津市三ケ名1550番地
指定管理業務の内容		<input type="checkbox"/> 天文科学館の事業の実施に関する業務 <input type="checkbox"/> 使用の許可に関する業務 <input type="checkbox"/> 観覧料の収受に関する業務 <input type="checkbox"/> 施設及び附属設備の維持及び管理に関する業務 <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める業務
指定期間		平成28年 4月 1日 ～ 令和3年 3月31日

3. 指定管理者業務運営項目評価

評価項目	指定管理者		文化・交流課	
	自己評価	評価の理由	評価	評価の理由
1. 施設体制に関する評価	B	<p>協定書等に準拠した実施体制を整えており、利用者からの料金徴収、管理記録、緊急時対応、法令順守などの各項目について遅延・問題なく遂行している。</p> <p>また、公益法人コンサルタント、社会保険労務士より適切な指導を受けている。</p> <p>経験ある専門職員・有資格者を配置し、学校や市・関連団体との連絡調整も十分に行っている。</p>	B	<p>協定書に準拠し、経験ある専門職員・有資格者を配置して運営できている。所管課や学校等との連絡調整を十分にやり適正な体制を整えている。</p>
2. サービス内容や水準に関する評価	B	<p>天文科学教育の拠点施設として、科学講座や著名な講師を招いた講演会、教育機関や地域、企業等との連携事業のほか、静岡STEMアカデミーなどの新規事業も実施した。</p> <p>来館者満足度調査では、「全体の満足度」が89%、団体利用アンケートにおいても「満足」との回答が90%を上回り好評価となった。</p> <p>有料入場者数は、台風やエレ</p>	B	<p>天文科学教育の拠点施設として、魅力ある多くの事業を開催し、利用促進に努め、天文・科学の普及に寄与している。また、学校連携事業や児童生徒への理科支援事業等を開催し、地域の教育の一部を担っている。</p> <p>有料入場者数について、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館期間が約1か月あったにもかかわらず、5</p>

		<p>ベーター更新工事、3月に新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う約1ヶ月の計画外休館があったものの、大型連休期間等のプラネタリウム特別投影や季節毎の体験型の特別展の実施等、利用者ニーズにあった事業展開により、昨年度より923人の増となり、13万人を突破した上、5年連続で12万人を超えた。また、団体利用についても、県立焼津青少年の家や旅行会社等の連携を強化し、24団体の増加となった。</p> <p>事故や機器故障等のトラブルについては、迅速な報告や対応を行い、問題の長期化や複雑化を避けた。</p>		<p>年連続で12万人を突破するなど非常に好調に推移しており、来館者の満足度調査においても高い評価を得ている。施設管理においては、プラネタリウムプロジェクターの故障等があったが、迅速かつ真摯に対応し、問題の長期化や複雑化を避けた。</p>
3. 収支等の評価	B	<p>予算執行については公社会計規程に基づき執行している。会計システムを導入し、会計事務所の指導のもと適正に処理し、経営状況は安定している。</p> <p>収支については、経年劣化等により緊急修繕等が多発したが、支出の抑制や自主事業の収入増に努め、修繕費用を捻出した上で、プラス収支となった。</p>	B	<p>振興公社独自に会計システムを導入しており、会計事務所の指導のもと適正に処理されている。効率的な予算執行を心掛け、経費の縮減に努めている。また、安定した財政基盤が構築できている。</p>
総合評価	B	<p>ディスカバリーパーク焼津天文科学館の指定管理者として協定書等を順守し、適正な管理に努めた。</p> <p>充実した科学教育の機会を提供し、天文や科学に対する興味・関心を高めることを心がけた事業展開に努めた。</p> <p>有料入場者は、約1ヶ月の計画外休館があったものの、13万人を突破し、5年連続で12万人を超えた。団体利用も県立焼津青少年の家等との連携強化により増加した。</p> <p>来館者満足度調査や団体利用アンケートでも高評価を維持している。</p> <p>収支については、支出の抑制や自主事業の収入増に努め、緊急修繕等の費用を捻出した上で、プラス収支となった。</p>	B	<p>天文科学館は学校の授業や事業を補助する役割を担い、積極的に天文科学教育の普及推進に尽力している。</p> <p>プラネタリウムについては、番組の自主製作により、多額の予算をかけずに定期的な入れ替えを可能にし、また子どもたちの興味関心をひきやすいアニメ番組の特別投影企画のほか、プラネタリウムコンサート、特別観望会や講演会の実施等、幅広い年齢層に対して話題性のある事業を展開し集客努力が感じられた。</p> <p>展示については職員の企画制作により経費削減に努め、親しみやすい展示は創意工夫が感じられる。</p> <p>このことから全般的な運営について評価できる点が多く、一定の水準を満たす管理内容であると考えられる。</p>

【評価区分】

- 評価基準：A（優良）協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。
 B（良好）協定書、仕様書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。
 C（課題含）協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。
 D（要改善）協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。